



「災害時における下校のあり方等に関する調査」報告より **保護者が望む下校方法は「引き渡し」**

学研教育総研 HP 「小学生白書 Web 版」で公開中！

株式会社 学研ホールディングス(東京・品川 宮原博昭社長)の研究部門である学研教育総研では、昨年より「小学生白書」をWeb版としてリニューアルし、調査結果を教育総研のHP上で公開しております。

昨年は、東日本大震災を受け、急遽「災害時における下校のあり方等に関する調査」というテーマで首都圏を対象にアンケートを実施しました。

■小学生白書 Web 版6月調査: <http://www.gakken.co.jp/kyouikusouken/whitepaper/201106/index.html>

この1月17日で、阪神・淡路大震災から17年になります。あらためて、防災に関する意識を強くもち、児童・生徒の安全を考えるきっかけとして、本調査結果をご紹介・ご活用いただければ幸いです。

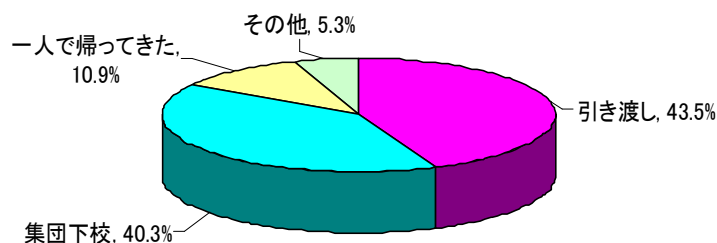
株式会社 学研ホールディングス 広報室

★災害時、保護者が望む下校方法は「引き渡し」

東日本大震災(3.11)当日の下校方法は、割合の多い順に、「引き渡し」、「集団下校」、児童単独での下校、…でした(下図)。

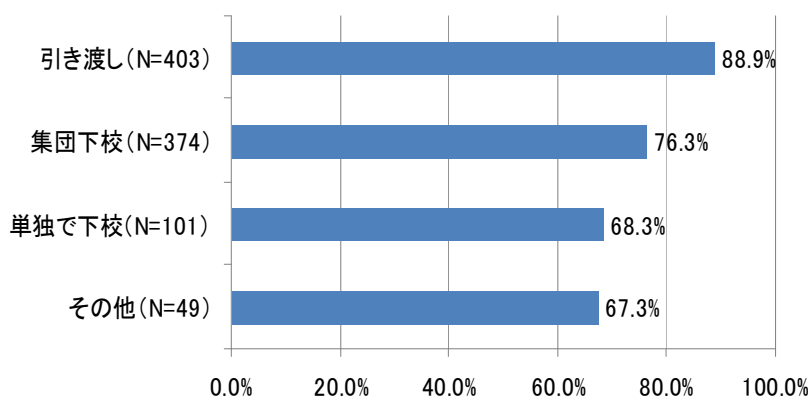


Q. 東日本大震災(3月11日)のとき、お子さんはどのように下校しましたか。



そして、データを分析する過程で、「引き渡し」が学校の対応として“適切である”という保護者の意識が調査結果として浮かび上がってきました(右図B-1)。

図B-1 下校方法別にみた「学校対応の適切さ」



<本件に関するお問い合わせ>

株式会社 学研ホールディングス 学研教育総合研究所
〒141-8510 東京都品川区西五反田 2-11-8
TEL.03-6431-1396
担当: 徳住政和
m.tokuzumi@mmf.gakken.co.jp

明治学院大学准教授: 石井久雄 / 小学生白書 Web 版 6 月調査より引用